

住信為替ニュース

THE SUMITOMO TRUST & BANKING CO., LTD FX NEWS

第1921号 2008年04月28日(月)

《 FOMC 》

今週のポイントは、先週末の大荒れとなった日本の債券市場で見られた「インフレ懸念」「金利観の修正」が、今後の日本や世界の金融市場のランドスケープをどのくらい変えるかだろう。

昨年夏から今までの世界の市場の主要テーマは、サブプライム問題に関連した信用不安だった。しかしアメリカの主要金融機関の決算発表が進む中で、信用不安への懸念は大幅に後退してきた。米金融機関のトップ自身が、「最悪期は過ぎた」との見方を表明するケースが増えているし、実際のところ政府が民間金融機関に要請してきた資本の増強がそれなりに進んできたためだ。代わって、先週の、特に後半からの市場のテーマは「インフレとの対峙」「金融当局の出方」に移りつつある。

相変わらずアメリカ経済の実態は悪く、世界経済の先行きも不透明感が増している。先週発表の消費者信頼感指数は26年ぶりの低水準だった。しかし市場は「金融市場は落ち着きを取り戻した」との判断から、次のテーマに関心を移しつつあると言える。先週も述べたが、市場は常に先を読むものだ。

最初にこの「高まるインフレ懸念への対峙の仕方」という難しい問題に直面するのがFOMCとなる。29、30日の二日にわたって行われるFOMCは、市場で0.25%の引き下げの織り込みがある中で、難しいものになると先週も指摘した。市場のコンセンサスは「0.25%の利下げ」だが、筆者の気持ちの中にはその通りに展開するのだろうか、という疑念がある。

これに関連して先週末のニュースの中で筆者が着目したのは、ブッシュ大統領が先に景気対策に盛り込んだ所得税減税の開始時期を、当初予定していた5月上旬から週明け初日の4月28日、つまり今日に前倒しすると発表したこと。つまり今週のFOMCの決着以前に、戻し税がアメリカの消費者の手元に届く可能性が強くなったということだ。つまり今週FOMCが利下げするとなれば、税還付と利下げが重なると言うことになる。

重なっても、税の還付は事前に予想されたこと。それが実施に移されるだけといえばその通りだ。しかし、印象としては「(景気・市場対策は)これで全部揃った」と言える状況になる。インフレが懸念となる中で、これほど措置を揃えてしまって良いのかというのが筆者の疑問だ。仮にこの2つが揃ったとしたら、当局や市場の関心は一段と「次に何に備えるか」の動きになる可能性があり、この思いはFOMC終了後の声明に盛り込まれるだろう。どのよ

うな表現が使われるかに今回の FOMC がことさら注目されるのは、その原因がある。

これまで資金が「safe heaven」探しの中で逃げ場としていた債券市場からの資金の流出は、先週に東京市場で見られた「サーキットブレーク」のような激しいものにならないまでも、世界的に着実に進行するきっかけになるかも知れない。ブッシュ政権の税還付政策は、小切手などを通じて行われる。概ね、単身世帯は最大 600 ドル、夫婦世帯は 1200 ドルを戻すというもの。

今週はアメリカでは GDP 統計速報値、雇用統計など非常に重要な統計が発表される。その他にもコンファランスボードの消費者信頼感、ISM 製造業景況指数など重要指標が次々に発表される。日本でも EU でも指標の発表が多い。こうした指標を前に FOMC がまたしても金利水準を設定せざるを得ない環境に置かれるのは相当難しいことだろうと思慮する。

市場のランドスケープが変わる中で生じる可能性が強いのは、世界的な債券利回りの上昇、株価の基調としての戻り、リスク回避から徐々なるリスクテークの動きの中での円相場の各国通貨に対する下げ進行などとなる可能性がある。

今週の主な予定は以下の通り。

4 月 28 日 (月)	3 月商業販売統計
4 月 29 日 (火)	東京市場休場 (昭和の日) 米 4 月コンファランスボード消費者信頼感指数 米 F O M C (~ 30 日) 世界イスラム経済フォーラム (~ 5/1、クウェート)
4 月 30 日 (水)	3 月労働力調査 3 月家計調査 3 月鉱工業生産 (速報) 3 月住宅着工 3 月建設工事受注 日銀政策決定会合 日銀総裁記者会見 経済・物価情勢の展望 (基本的見解) 公表 EU 4 月消費者物価 EU 3 月失業率 米 M B A 住宅ローン申請指数 米 4 月 A D P 雇用統計 米 1 ~ 3 月 G D P (速報) 米 1 ~ 3 月個人消費 (速報) 米 1 ~ 3 月コア P C E 米 1 ~ 3 月雇用コスト指数

5月1日(木)	米4月シカゴ購買部協会景気指数
	4月新車販売台数
	米4月ISM製造業景況指数
	米3月個人所得・支出
	米3月PCEコアデフレーター
	米3月建設支出
	米4月米国内自動車販売
5月2日(金)	ドイツ・フランス・スイス・ロシア・中国・香港・台湾・韓国・シンガポール・タイ市場休場(Labor Day)
	米4月雇用統計
	米3月製造業受注
	米景気刺激策の一環で戻し税の銀行振り込み開始(小切手送付開始は5/16から)
	中国・ロシア市場休場

《 have a nice week 》

なぜか週末になると雨が降る。土曜日は富士山麓にいたのですが、寒かったし雨だったし最低でした。まあ春ですから、雨を経ながら徐々に暖かくはなっているのですが。

先週は久しぶりに愛媛県に伺いました。松山から八幡浜までは電車で行ったのですが、それがなんと「アンパンマン電車」でした。車輦全体に、それこそ座席の背もたれにも色鮮やかなアンパンマンが登場している。びっくりしましたが、飛行機はもうそういうのが頻繁に見られる時代になっているので、「これも面白いかな」と。子供達には非常に人気なんだそうです。連休中はこの列車は忙しいのでは、と。

来週はお休みの予定です。それでは皆さんには良い一週間を。

《当「ニュース」は住信基礎研究所主席研究員の伊藤(E-mail ycaster@gol.com)の相場見解を記したものであり、住友信託銀行の見通しとは必ずしも一致しません。本ニュースのデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》